

## 昭和100年記念

# 令和8年度全日本少年少女武道（剣道）錬成大会要項

1. 趣 旨 全国の小学生を対象に基本を主眼とし、剣道の正しい普及並びに心身の錬磨と相互の親睦を図り、我が国の将来を担う青少年の健全なる育成に資する。
2. 主 催 公益財団法人日本武道館・公益財団法人全日本剣道連盟
3. 後援(予定) スポーツ庁・日本武道協議会
4. 主 管 一般財団法人東京都剣道連盟・東京都学校剣道連盟
5. 期 日 令和8年7月25日(土)、26日(日)  
午前7時20分受付開始・8時40分入場行進開始・9時10分開会・午後6時閉会(予定)
6. 場 所 日本武道館 東京都千代田区北の丸公園2-3
7. 参加資格 (1) 健康上支障ないと認められた小学4・5・6年生で、責任者のいる団体であること。  
(2) **監督は、全日本剣道連盟社会体育指導員(初級・中級・上級いずれか)の有資格者であることが望ましい。**
8. 錬成種目および内容  
試合錬成(団体試合)  
(1) 試合は、16試合場(8ブロック)に分ける。  
(2) 試合は、トーナメント方式で行い、基本判定試合及び1本勝負の総合判定によりベスト8を選出する。  
(3) 各試合場のベスト8から上位の試合は、3本勝負とする。  
(4) 各試合場の1位同士によるブロック決勝を行う。  
※内容詳細は、別紙「試合実施要領」を参照のこと。
9. 参加基準 (1) 1団体2チームまでの参加とする。  
(2) 2チーム参加の場合は、**監督及び選手(補員を含む)の重複は認めない。**  
(3) **1選手1団体のみの登録とする。**  
(4) 1チーム選手5名、補員1名、監督1名で編成する(学年順序不同・男女混成可)。なお、チーム編成上、やむを得ず選手が5名に満たない場合、4名の時は、「先鋒」、「中堅」、「副将」、「大将」に配置し、3名の時は、「先鋒」、「中堅」、「大将」に配置すること。
10. 試合・審判規則  
全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則と同細則」、ならびに「感染症予防ガイドライン」および別紙「錬成大会試合実施要領」により行う。
11. 参加方法 (1) 申込方法 インターネットで申し込むこと(ただし、本年度初めて大会に参加する団体は、日本武道館公式ホームページにアクセスし、全日本少年少女武道錬成大会ページより事前に団体登録を申請すること)。別紙「インターネット参加申込受付のご案内」を参照のこと。  
(2) 参加費 1チーム 9,000円とする(申込締切期日までに送金のこと)。  
※一旦納入された参加費は、一切返金しない。  
(3) 振込先 三菱UFJ銀行 神田支店 普通3817467  
コウエキサイダンホウジンニッポン フドウカントクベツカイケイケンドウグチ  
公益財団法人日本武道館特別会計剣道口  
※振込手数料はご自身でご負担をお願いします。  
※依頼人欄に開催案内左最上部に記載されているコードNo.・団体名を必ず記載のこと。  
(4) 出場日 出場日は原則として各団体の出場希望日とする。ただし、希望に添えない場合もある。7月上旬に各団体責任者宛にメールにて通知する(指定された出場日の変更は認めない)。  
(5) 申込締切 令和8年6月3日(水)

(6) 申込取消及び監督・選手変更

申込後に参加を取り消す場合は、**6月8日(月)必着**で別紙申込取消届にて、「〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館振興課 剣道係」宛に送付すること。また、参加を申し込んだ後、団体責任者の交代、所在地の変更などがあった場合、全日本少年少女武道錬成大会ページより修正すること。

※申込完了後の監督・選手変更については、大会当日とする。

大会当日の選手変更について……登録済の選手と登録済の補員との入替のみ認める。その場で、未登録選手の補員登録はできない。

大会当日の監督変更について……登録済の監督と未登録の監督との入替のみ認める。同団体内で、Aチームの監督とBチームの監督を入れ替えることはできない。

※プログラムに記載された監督以外が元立ちを行うと失格となるので、変更をする際は必ず監督・選手変更届を提出すること。

※詳細は、7月上旬に申込責任者宛に案内する「大会参加実施要項」を参照のこと。

12. 表彰

- (1) 各ブロックごとに、優秀賞(1チーム)、優良賞(1チーム)、敢闘賞(2チーム)の団体に賞状を、個人に賞状・賞品を贈る。
- (2) 優秀賞のチームには日本武道館より優秀旗(持ち回り)を贈り、前年度の優秀賞受賞チームにはレプリカを授与する。
- (3) 参加者全員に参加章を贈る。

13. 安全対策

- (1) 安全管理には万全を期すが、大会中に万一事故が発生した場合は、医師または看護師により応急処置を施す。当日、病院などで治療を受けた場合は、主催者が保険の範囲内で初診料を負担する。本人のマイナ保険証等、医療機関を受診する際に必要な書類を持参のこと。なお、日本武道館では、武道大会傷害保険に加入している。
- (2) 竹刀の検査は行わないが、監督は選手の竹刀の点検を試合ごとに十分行うこと。
- (3) 監督及び保護者は、参加者が過労にならないよう日程に留意し、特に、発熱等体調不十分の者は参加させないように配慮すること。
- (4) 監督及び保護者は、試合場内外における参加者の行動に十分注意し、事故防止に努めること。
- (5) 医師等により、脳しんとうの可能性や生命の危険性を否定できない症状と判定された場合は、直ちに当該の試合への参加を中止とする。

14. その他

- (1) 本大会申込にて取得する個人情報は、大会の事務連絡及びプログラムなど、大会運営に関することに利用し、他の目的には使用しない。ただし、申込書に記載されている団体名・団体責任者名・住所などの情報は、(公財)日本武道館及び(公財)全日本剣道連盟が主催する行事の案内などに利用することがある。
- (2) 選手の学年詐称、本大会のために臨時で団体を結成するなどの不正行為が発覚した場合、大会当日該当するチームの出場を停止する場合がある。また、次回大会について当該団体の参加を認めない場合がある。なお、大会終了後に発覚した場合も同様とする。
- (3) 主催者と公認報道機関等が撮影した本大会の写真・映像が、新聞・雑誌・関連ホームページ・SNS等で公開および広報を目的として使用されることがある。
- (4) 主催者では、宿泊斡旋業務は行わないので、各自で手配すること。なお、弁当の斡旋については、出場団体に対して後日案内する。
- (5) 申込締切後の参加状況により、日本武道館内に入場することのできる保護者等の人数を調整する場合がある。詳細は、7月上旬にメールにて案内する書類を確認すること。

[お問い合わせ先]

(公財)日本武道館振興課 TEL 03-3216-5134 FAX 03-3216-5117

(土・日・祝日を除く午前10時～正午・午後1時～午後5時)

以上